

■施工手順

1. 養生

(1) 枠廻り、柱、巾木、見切り等にパテ、糊等が付着しないように養生する。

2. 捨て糊

(1) 「プラゾール SS」(3.5kg)を原液又は、約 10%の水で希釈し、刷毛、ローラーにて下地全面に均一に塗布する。

(2) 完全に乾燥させる。

3. パテ

(1) 欠損部、凹部を「シールパテ」でパテ処理し、下地を平滑化する。

(2) 完全に乾燥させる。

4. クロス貼り

(1) クロス貼り専用接着剤「ルーアマイルド」18kg に「プラゾール SS」(3.5kg)を混合し、約 40%の水(約 9L)で希釈し、糊付け機械にてクロス裏面に均一に塗布する。

(2) 養生袋「カンガルー」内でクロスに適合したオープンタイムを取った後、貼り合わせる。

(3) ジョイント部は突き付け施工にて行う。重ね切りを行う場合は、下地を切らないよう「PP 下敷きテープ」(350-126)等を使用する。

■使用商品 (施工㎡数)

●プラゾール SS

商品番号	荷姿	施工㎡数
220-221	18kg	140 ㎡/18kg(原液)
220-223	1kg×4×4	8 ㎡/1kg(原液)
220-222	3.5kg×4	28 ㎡/3.5kg(原液)

●シールパテ

商品番号	荷姿	施工㎡数
273-701	18kg	250 ㎡/18kg
273-702	4kg×4	50 ㎡/4kg

●ルーアマイルド		施工㎡数
商品番号	荷姿	ルーアマイルド：18kg プラゾール SS：3.5kg 160 ㎡/21.5kg
213-701	18kg	
商品番号	荷姿	
220-223	1kg×4×4	
220-222	3.5kg×4	

■注意事項

- ① はみ出したパテ、接着剤は直ちに清水にて拭き取って下さい。
- ② クロス貼り後、3～4 日間は急激な空調の使用は避け、自然換気に努めて下さい。
- ③ 施工は 5℃以上で行って下さい。
- ④ 下地クロスの種類、状態によっては重ね貼りができない場合もあります。
- ⑤ 通気性の少ないクロスの場合、クロス施工後に膨れが生じる事がありますので充分注意して下さい。
- ⑥ 表面に汚れ、油分が付着している場合、中性洗剤等で除去し、固く絞った雑巾で拭き取り乾燥させた後施工して下さい。
- ⑦ 「プラゾール SS」を使用する際は事前に下地へ試験塗布し、乾燥後クラフトテープを貼り、剥離しないか確認した後、施工して下さい。
- ⑧ 壁紙の種類によっては接着しにくいものもありますので、試験施工した上で施工して下さい。
- ⑨ コーナー、見切り部分の剥がれ防止に「ジョイントコーク A」の使用をお勧めします。
- ⑩ 使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項を必ずお読み頂き、充分にご理解頂いた上でご使用下さい。